

工業部会通信

発行元：相模原商工会議所
工業部会
編集：かながわ経済新聞
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)3021



近未来技術研究会

新会長に田森氏

西澤氏は相談役 全議案を承認



挨拶する田森新会長

近未来技術研究会は27日、通常総会を開催し、新会長に田森幸一氏（双葉工業社長）とする役員案などを承認した。田森氏は同日から新会長に就任。西澤勇司前会長（キャロットシステムズ社長）は、同会相談役となった。田森新会長は、「精一杯努力していく。先代の想いを引き継いで会をますます発展させていきたい」と決意を語った。

田森会長は2000年の同会発足当初から所属。これまでに理事、副会長を歴任。今回の会長就任となった。田森会長は取材に対し、「（近未来技術研究会は）会員全員で創りあげていく会。そうした会の利点を生かした運営をしていきたい」と話した。さらに、「現会員は青



相談役に就任した西澤氏

工研の関係者が多数いるが、それだけでなくこれまで工業部会と関わりがなかった企業の会員も増やしたい」との抱負も述べた。一方、西澤相談役は、技術の変化が激しいなかで、会活動を通じて、「変化のその先」を見据えられるような会運営をやってもらえたら」と話して



総会の様子

独視察などを検討 医療参入、最先端IoTテーマに



左から那須氏、早川氏、杉本氏

プロジェクト3委員長に聞く
工業部会で進めているプロジェクトである、GET（早川正彦委員長）、TRY（杉本祥一委員長）、KIZUNA（那須隆仁委員長）の3委員長に今年度の方針を聞いた。

早川委員長「今年度もやることは変わりませぬ。みんなで仕事をGETしようという考え。松岡康彦前委員長のときは、エネルギーや自動車に焦点を当てましたが、昨年度から始めた『医療産業』というテーマも前好評でした。今後はこのテーマをもっと掘り下げると、海外展開についても、企業の経験談を聞くような講演会を聞いたりでよいのかなと思っています」
杉本委員長「今年度の目玉として独視察を検討しています。秋頃を考えています。独のモノづくり産業の現状、それに、インダストリー4.0」を視察をしたいと思えます。具体的なことはこれから決めていきますが、滞在期間としては、1週間程度を想定しています」
那須委員長「力を入れていくのは全会員の交流です。また、東日本震災の時に遊休機械マッチングを行ったように、残念ながら今起こった熊本地方の震災についても、同じような要請があれば、商工会議所を通じて支援していきたいと考えています」

エンジニアリング専務）理事・大谷保憲（ボンド・ロジスティクス社長）、大西威一郎（クフウシャ社長）、久保田浩章（相模螺子社長）、杉本祥一（ハイスポット社長）、鈴木和弥（東鈴紙器社長）
監事・久保誠（オーエィ社長）、村上泰弘（共立機械製作所社長）
なお、当日は通常総会に続き、第1回例会を開催した。
「人工知能は人間を超えるか」進化するAIとビジネスの近未来」をテーマに三菱総合合研究所 先進データ経営事業本部 IoT活用事業推進グループ 首席研究員の寺邊正大氏が講演をおこなった。講演詳細は次号掲載予定。



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会